

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として数多くの社会との接点をとりながら、豊かな心を持ち、自らの生き方を考えて各自の「夢」の実現に向けてチャレンジする主体的な生徒を育てるとともに、希望する多様な進路を実現できる確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

- 1 多様な進路を支える教育活動を展開する
- 2 ともに学び、ともに育つ心を培う教育活動を展開する
- 3 自ら将来の夢を描き、それを実現できる生徒を育成する

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 授業の充実（「授業内容に興味・関心をもつことができる授業」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じる授業」を行う）

ア 授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用するとともに、教員間における「授業見学」を行い、授業改善に取り組む。

※生徒の「授業アンケート」における『興味・関心を持つことができた』『知識技能が身に付いた』等の肯定的な評価の割合（平成 28 年度 83%、85%）を平成 29 年度には共に 85%以上にする。

(2) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に（自分の）考えを伝える能力の向上

※生徒の「総合学科アンケート」における『コミュニケーション能力が身についた』（平成 27 年度 80%）を平成 29 年度には 85%にする。

(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着

ア 自主的な学習態度が身につく「勉強合宿」や「一日勉強会」等の取組みを行う。

※生徒の「学校教育自己診断」における『学習に頑張ってきた』（平成 27 年度 1 年 51%、2 年 76%、3 年 87%）を平成 29 年度には全学年 80%以上にする。

イ 学校行事を通して自主・自立性を育てる。

※生徒の「総合学科アンケート」における『自主性を伸ばすことが出来た』（平成 27 年度 83%）を平成 29 年度には 85%にする。

(4) 基礎学力の定着

ア 「学力生活実態調査」のリトライ指導を徹底し、「堺東スタンダードテスト」を継続し、基礎学力の定着を図る。

※「学力生活実態調査」における 1, 2 年生の G T Z を共に B 2 にする。

※センター試験受験者（平成 28 年度 135 名）を平成 29 年度も 100 名超にする。

(5) 政治的教養をはぐくむ

ア 各学年において政治的教養をはぐくむ教育を一層充実させる。

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う）

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進する。

イ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づいた指導を行う。

ウ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を一層充実する。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』（平成 27 年度 78.6%）を平成 29 年度には 80%にする。

(3) 生徒の規範意識の醸成

ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底する。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』（平成 27 年度 92%）を平成 29 年度には 95%にする。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

ア 「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「志学」「ホームルーム」の四つを通じてキャリア教育を充実する。

※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度（平成 27 年度 1 年 77%、2 年 87%、3 年 87%）を全学年 80%以上にする。

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 部活動を一層活性化し、生徒の入部率を上げる。

※部活動入部率（平成 28 年度 75%）を平成 29 年度には 80%にする。

イ 学校行事への満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度（平成 28 年度は「95.2%」「90.9%」）を平成 29 年度には共に 95%超にする。

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 本校総合学科の特徴である「堺学」を通じて堺市が主催する各種イベントへ積極的に参加する。

イ 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

※ ホームページの年間アクセス数（平成 28 年度は 84,000 件）を平成 29 年度は 85,000 件にする

(2) 学校説明会の充実

※ 7 月と 11 月の 2 回オープンスクール参加者計数（平成 28 年度は 1,058 名）を平成 29 年度には 1,100 名超にする

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 月実施分] | 学校協議会からの意見 |
|---|--|
| <p>※自己診断アンケートは、1年次生は12月8日、2年次生及び3年次生は11月30日に実施。教員と保護者については1月22日までに実施。</p> <p>※ここに示す%は肯定率を表す。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は授業について85%（1年89%、2年90%、3年77%）が「難しい」と評価し、「授業の教え方を工夫している教員が多い」という評価は87%（1年74%、2年97%、3年91%）であった。今後も授業改善への取組みが必要である。 保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいとっている」の評価は、63.1%であった。これについては、さらに教え方の工夫と進捗・内容の検討が必要である。 本校のキャリアガイダンスについては生徒の82%、保護者の87%、教員の81%が適切であると評価している。総合学科としての全体への取組みや生徒への働きかけをさらに強化したい。 選択科目について、生徒の73%、保護者の87%、教員の79%が「生徒の興味関心に応えている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の73%（昨年73%）が「行くのが楽しい」と自己評価し、横ばいである。また保護者の83%（昨年79%）が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と昨年を上回った。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。 保護者は本校の生徒指導に80%が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」の問いでは、92%と非常に高い自己評価を得ている。実際、真面目な生徒が多く、この状態を次年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の83%（昨年84%）、保護者の83%（昨年84%）が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばいである。新規の「いじめへの対応」については、生徒の83%、保護者の81%が肯定的にとらえている。いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生は81%（昨年90%）が総合学科を選んでよかったと評価し、76%（昨年83%）が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、69%（昨年79%）が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、いずれも昨年度を下回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は88%（昨年85%）が活発であると評価し、実施翌日の生徒会アンケートで生徒は、文化祭に93%、体育祭に92%が満足していると答えており、例年とほぼ横ばいであった。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていきたい。 教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は2%アップしたものの45%と、毎年低い数値になっている。これは担任が面談等を繰り返す行き、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度は相談委員会の教員が交替で常駐する体制に改善したが、来室生徒数は少なかった。 教員の「PTA活動へ参加している」が1%ダウンの47%であった。次年度も校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。 教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については2%アップの51%であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。 教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については10%ダウンの44%であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度は夏に「魅力ある高校」をテーマに研究協議形式の研修会を4回実施したところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。 <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は、1年78%、2年90%、3年83%、全体84%の肯定率である。ただし保護者は78%の肯定率で若干の差が見られ、今後更なる情報提供の充実に向けて取組みが必要である。 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校の施設・設備に満足している」については、生徒53%、保護者67%、教員60%であった。自由記述では、トイレ改修、科目選択、宿題の多さなどの意見が出た。 | <p>○ 平成29年度堺東高等学校第1回学校協議会を7月24日に開催し、「今年度の学校経営計画と取組みについて」、「各分掌、学年、委員会より現状報告と今年度の取組みについて」の二点について協議した。</p> <p>委員からは「総合学科の科目選択で、ジャンル分けや、進路との連携はどうなっているのか」「部活動への加入率が低下し、アルバイトをする生徒もいるようだが、学校としてはどのように捉えているのか」「授業公開や授業参加とアクティブラーニングについてどう考えているのか」「サポートについてどう考えているのか」といった質問や、「AED講習会が自前で開催できる応急手当普及員の資格を取得することで地域にも貢献できるのではないか」「総合学科として教科教育だけでなく『学び』を前面に出したほうが良いのではないか」といったご意見をいただいた。</p> <p>○ 第2回学校協議会を12月4日に開催し、「今年度の学校経営計画における取組みの中間報告について」、「各分掌、学年、委員会より今年度の取組みの中間報告について」の二点について協議した。</p> <p>委員からは「18歳からの選挙権について、授業など何か対応しているのか」「中学校では、新しい指導要領の『学びに向かう力』など評価しづらいと感じている。高校ではどうか」「1年次の自宅学習時間の低下の原因をどう捉えているか」といった質問や、「打たれ弱い子供が増え、言葉に過敏に反応し、人格を否定されたように感じて立ち直れない生徒もいるかもしれない。朝起きられない・食べられない・登校できないなど、様々な形で現れてくるだろうが、フォローする言葉を意識的に掛けて貰いたい。生徒が教員からの配慮を感じ取ることで、信頼関係が築けると思う。」というご意見をいただいた。</p> <p>○ 第3回学校協議会を平成30年2月22日に開催し、「今年度の学校経営計画における取組みの最終報告について」及び「各分掌、学年、委員会より今年度の取組みの最終報告について」の二点について協議した。</p> <p>委員からは「勉強の仕方が分からない生徒への指導はどうしているのか」「基礎学力を身につけるための具体策はどんなものか」といった授業を含む学習活動への質問や、「教職員の研究授業の方法はどんなものか」「サポート校事業とはどんなものか」といった教職員の研修や活動内容についての質問をいただいた。保護者アンケートの回収率の51%を伸ばす努力や総合学科の魅力を中学校や地域にアピールする工夫（具体的には、行事の魅力発信など）についての提言をいただいた。他校の事例や国の制度の動向へのアンテナを張りめぐらせる重要性についての提言もいただいた。</p> |

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|----------|-------------------------------------|--|---|--|
| 確かな学力の育成 | (1) 授業の充実 | (1)ア 教員相互の授業公開、管理職の授業観察、研究協議等を通じて授業力を向上させる ・授業公開週間を設け教員相互が授業見学を行う ・管理職が授業改善に係る指導助言を行う ・教員自ら授業アンケート結果を検証し、授業改善を積極的に行う イ 高大連携やインターンシップを充実させる | ・教員の授業見学や研究協議への参加率 90% < H28-86% > ・生徒の授業アンケートでの(問8)「授業内容に興味・関心を持った」、(問9)「授業を受けて知識や技能が身に付いた」の満足度 85% < H28- (問8) 83% (問9) 85% > ・医療系大学高大連携講座参加者 15名 < H28-13名 > | (1) ア・11/10に校内公開研究授業を行い、その後活発な研究協議会を実施した。教員参加率は(45名/66名)で68%であった。今年度は「日々の授業づくり」「オールイングリッシュによる授業」「アクティブラーニングの有効性」などについて活発な意見が出た。次年度も研修を通して授業内容や授業方法の研究や改善に取組みたい。(△) ・授業アンケートでは「興味・関心を持った」79%、「知識技能が身に付いた」82%の満足度であった。次年度は両項目共に85%の満足度をめざす(△) イ・医療系大学の高大連携講座に21名が参加した。今後も一層高大の連携を深めていきたい。(◎) |
| | (2) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に自分の考えを伝える力の向上 | (2) 授業や集会において、自分の考えを発表したり他者の意見を聞いたりする機会を増やす ・授業の中でプレゼンテーションの機会を増やす ・校外の研究発表等に積極的に参加する | ・総合学科アンケートでの「自己表現や他者理解などのコミュニケーション能力が身についた」85% < H27-80% > ・プレゼンを取り入れた授業を全ての教科で行う ・総合学科アンケートでの「自分で考える力や自主性を伸ばすことができた」85% < H27-83% > | (2) ・「探求講座」「保健」「社会と情報」「栄養」等でプレゼンを実施。また英語スピーチを「英会話」「英会話基礎」等で実施した。今後も他の教科において自分の考えを伝える授業を増やしたい。(○) ・「看護基礎」を受講する3年生2名が「大阪府総合学科高等学校研究発表会」で看護実習についてのプレゼンを行った。また、地学部生徒が11月に開かれた「大阪府学生科学賞展」で今年度も「酸性雨」について研究発表し、表彰された。堺市博物館主催「日本と世界が出会うまち・堺 研究発表大会」では「堺学」の授業作品を展示発表した(◎) ・<「コミュニケーション能力が身についた」69%、「自主性を伸ばせた」76% > (△) |
| | (3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着 | (3) ア 補習・講習を充実させる ・学年や教科が中心となり、補習・講習を行う イ 校外でのセミナーや模擬試験など、様々な学習行事に自ら参加する姿勢を育てる ・「進学合宿」「勉強合宿」を充実させる ・自習室や進路指導室の活用を促進する | ・「進学合宿」「勉強合宿」への参加者が共に50名 < H28-「進学」51名「勉強」39名 > ・「学校教育自己診断」の『学習にがんばってきた』全年80% < H27-1年51%、2年76%、3年87% > | (3) ア・3年次について、前期13講座、夏休み17講座、後期17講座、冬休み6講座を開講し、内容充実に努めた。(○) イ・昨年3/21より2泊3日で1、2年生の「勉強合宿」を実施し18名が参加した。また、7/28より3年次生の「進学合宿」を実施し10名が参加した。施設と日程の関係で企画が難しいが、次年度は参加者の増をめざしたい。(△) ・<「学習にがんばってきた」(1年48%、2年68%、3年81%) > (△) ・昨年度の校長マネジメント経費で、自習机を6台増やし、自習室、進路指導自習コーナー、看護系自習コーナーは、ほぼ毎日多数の生徒の利用がある。今後も継続的に活用度を高めたい。(○) |
| | (4) 基礎学力の定着 | (4) ア 講習等で「学力生活実態調査」のやり直し(リトライ)を徹底し、国・数・英の基礎学力を定着させる | ・1年2年共に第2回「学力生活実態調査」の3教科全てGTZ「B2」 < H28-2年がB3、1年がB2 > ・センター受験者100名 < H28-135名 > | (4) ア・「学力生活実態調査」については、教員による再指導(リトライ)を行なっている。例年低下する平均GTZは、1、2年生ともB2を堅持した結果となった。一方、学習習慣はC1に低下した。次年度以降も指導を継続したい。(△) ・センター試験は116名が出願、109名が受験した。(○) |
| | (5) 政治的教養をはぐくむ | (5) ア 各学年共に「HR」「授業」「産業社会と人間」等の時間において、外部機関と連携して充実した政治的教養をはぐくむ取組を行う | ・各学年共に「指導計画」書に定められた指導を完了する(1・2年5単位時間、3年3単位時間) | (5) ア・「HR」「産業社会と人間」等を活用して政治的教養をはぐくむ取組を規定通り実施した。1年次は模擬投票なども実施し、選挙・公約や新聞記事に興味を持ったとの意見が出るなどの効果があった。(◎) |

府立堺東高等学校

| | | | | |
|-------------|----------------|--|---|---|
| 安全で安心な学校づくり | (1) 人権教育の推進 | (1) ア 「自立支援コース」生徒と一般生徒の授業交流の機会を増やす イ 子どもや保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う ウ 堺支援学校との交流会を一層充実させる | ・「自立支援コース」生徒と一般生徒の交流授業を7教科以上実施する<H28-6教科> ・不当な差別的取り扱いを生起させない ・夏の支援学校との交流会への参加者 50名<H28-40名> | (1) ア・芸術、社会、理科、福祉、保健、HRの授業で交流を行った。情報の授業でインタビュー記事や情報モラルについてのプレゼン作品を仕上げた(○)。 イ・希望する自立支援生徒に、ICT機器(タブレット型PC)の使用と縦書きプリントの配布などの配慮を行った。(○) ・配慮を要する生徒の学習を保障するため、組織的に対応した。(◎) ウ・夏の堺支援学校訪問交流に生徒36名が参加した。今後も生徒会と連携して障がい理解を推進したい。(△) ・冬の堺支援学校招待交流では、51名を招いて生徒会主体の全校歓迎会を実施し、その後、1年生が全クラスでのHR交流を行い、レクレーション等で親睦を深めた。(○) |
| | (2) 教員の人権意識の高揚 | (2) ア 教職員の人権研修を充実させる イ 支援教育サポート校として他校を支援する ウ 教育相談体制を充実させる | ・教員の「学校教育自己診断」における人権教育関連の項目で、校内研修・参画度等の肯定率85%<H27-参加率78.6%> | (2) ア・校内人権研修を2回実施した。7/21の「みんながつくる『みんなの学校』～全ての生徒の学習権を保障する」参加率86.6%(52名/60名)、2/2の「子どもの貧困～取材現場からの報告」参加率84.3%(54名/64名)。両研修ともに講演後に活発な研究協議が行われた。(○) <教員向の校内研修・参画度等の肯定率77.9%>(△) イ・支援教育サポート校として他校からの相談件数が18校43件。その他高校だけでなく小中学校や市町村への研修講師依頼が11件、関係会議への参加が23回あり、積極的に支援を行うことができた。(◎) ウ・月に平均1回来校するスクールカウンセラーによる相談が32件、サポート室の教諭による相談もあり、教育相談体制は充実している。なお、教育相談委員による交替制で、教育相談室を授業時間中は開室している。(◎) |
| | (3) 生徒の規範意識の醸成 | (3) ア 安全で安心な学習環境をつくる ・ネット上のいじめ等が発生しないように情報モラルを育成する ・集会やHRで交通ルール遵守の姿勢を育てる | ・生徒向け「学校教育自己診断」の『生活指導上のルールを守っている』95%<H27-92%> ・携帯電話やネット上のトラブルを生起させない | (3) ア・年間3回全教員で、また毎日教員4名当番制で通学マナー、服装、頭髪の登下校指導を実施した。授業時間内は当番制で校内巡回も実施した。(○) <生徒「生活指導上のルールを守っている」92%>(△) ・集会、探求、HRや情報の授業で実施している「情報モラル」に関する指導により、携帯電話やネット上の大きなトラブルは、発生していない。(○) ・全校集会や学年集会などで生徒指導部より交通ルールの指導を行った。また1年生に対しては、12月にグラウンドでスケアードストレイト(スタントマンによる交通事故の再現)を実施した。(◎) |

| | | | | |
|--|--------------------------------|---|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p> | <p>(1) キャリア教育の充実</p> | <p>(1) ア 「キャリア教育」を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現に向けて「産社」「志学」「HR」「総合」の有機的な連携を図る ・「志学」において大学や専門学校への説明会等への積極的な参加を図る イ 保育所、病院、老人介護施設へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める | <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育」に係るアンケートの満足度90%<H27-1年77%、2・3年87%> ・「大学訪問レポート」提出率2学年共100%<H28-1年98%、2年100%> ・保育所、病院、老人ホームへのインターンシップ参加者数のべ50名<H28-33名> | <p>(1)</p> <p>ア・「キャリア教育」に係る満足度82%（1年84%、2年82%、3年79%）>（△）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現に向けて、3年前期には企業について学ぶ「就職と人権」、1・2年では学問の系統や上級学校について学ぶ「模擬授業」「学部学科別がイッソ」「大学等見学」など、各学年において「産社」「志学」「HR」を活用して「キャリア教育」に取り組んだ。（○） ・2年生と1年生の希望者が大学や看護専門学校への見学会を実施し、レポート提出を課した1年生の提出率は100%であった。（○）また1年生が「探求入門」として、大学のオープンキャンパス等に参加するという夏休みの「探求課題」も100%の生徒が参加し、全員がレポートを発表した。（○） イ・5月の病院見学会に14名の生徒が参加し、8月に保育所7名、病院4名・老人ホーム4名の生徒がインターンシップに参加し、合わせて28名が職業理解を深めた。今後も参加を推進したい。（△） |
| | <p>(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加</p> | <p>(2) ア 体罰のない部活動指導を行い、充実した部活動運営を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の入部率を上げる ・地域の中学校との部活動交流を積極的に行う イ 「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等、生徒が自主運営する学校行事を活性化させる ・生徒会活動や各種学級委員会活動を充実させる | <ul style="list-style-type: none"> ・体罰ゼロの継続 ・「近畿大会」以上へ出場するクラブを増やす<H28-1クラブ> ・部活動入部率80%<H28-75%> ・中学校との部活交流を行う部活動を増やす（4クラブ以上）<H28-3クラブ> ・「体育祭」「文化祭」に係るアンケートの満足度95%<H28-「体育祭」95.2%、「文化祭」90.9%> ・生徒の各種委員会を毎月1回以上行い、活動内容をHP等に掲載する | <p>(2)</p> <p>ア・「安全で安心な学校生活アンケート」を7月と11月に実施し、今年度も「体罰」が無いことを確認をした。（◎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率は74%であった。次年度も80%の入部率をめざす。（△） ・地域の中学校との交流として女子バスケットボール部が8月は12校、12月には8校を招いて本校主催の「ドルフィンカップ」を開催、男子バレー部は昨年引き続き10校を招いて積極的に交流を行った。今後も継続したい。（△） ・軽音楽部及びダンス部が全国大会出場を果たした。また、男女ハンドボール部、女子バスケットボール部は近畿大会出場には至らなかったものの、府5位の実績を上げた。今後も引き続き指導を続ける。（◎） イ・「体育祭」91.7%、「文化祭」93.8%の満足度で、文化祭はアップしたが「体育祭」が昨年より若干低下した。これは実行委員の人数が昨年より比して少なく、競技内容の不備を修正できなかったからと考えられる。今後も生徒の積極参加を促し、自主性を尊重した行事の充実を図っていく。（△） ・月1回程度、図書委員会、保健委員会を行い、「図書新聞『パピルス』」、「保健だより」を発行した。他の学級・風紀・文化・体育等の各委員は、オープンスクール運営・文化祭・体育祭運営に協力し、各行事をホームページで紹介した。（○） |
| | <p>(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携</p> | <p>(3) ア 地元の小学校との交流を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 堺市の観光協会や博物館が主催する行事に参加する「堺学」受講生徒を増やす ウ 地域のイベントに参加したり、ボランティア活動に参加する生徒を増やす | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学生との授業交流を続ける ・「堺学」の授業発表や堺市が主催する各種イベントへの参加を年間3回以上行い「学びの質」を高める<H28-3回> ・地域のボランティア活動への参加者数のべ150名<H28-121名> | <p>(3)</p> <p>ア・「福祉基礎」「福祉援助技術（介護基礎）」選択生徒が地域の小学校を招いて車椅子体験、視覚障がい者体験を指導し、交流した。（○）</p> <p>イ・「堺大魚夜市」「堺文化財特別公開」「堺学フィールドワーク」「堺市博物館研究発表会」に参加し、地域との活発な交流・活動を行った。今後も「堺学」に関する学びを深める行事への参加を推進したい。（○）</p> <p>ウ・ボランティアでは、5月「緑のつどい」6名、7月「堺大魚夜市」28名、8月「地域夏祭」13名、9月「地域敬老会」8名、「堺観光ガイドボランティア」15名、「FP0障がい者スポーツ大会」13名、11月「南区クリーンキャンペーン」1名、「保育園秋祭」10名、「府民レクフェスTBG大会」13名、合計107名が参加した。昨年より若干減ったが、毎年継続した活動として定着しており、地域からも感謝されている。来年度も積極的に参加を推進したい。（△）</p> |

府立堺東高等学校

| | | | | |
|--------------------|------------------|---|--|---|
| 開かれた学校づくりの推進と情報の発信 | (1) ホームページの充実を図る | (1) ホームページを頻繁に更新し、学校情報を積極的に発信して在校生やその保護者、中学生やその保護者に必要な情報を提供する | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの年間アクセス数 85,000 件以上<H28-84,000 件> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページには年間 77,000 件(1 日当たり平均 210 件)のアクセスがあった。在校生や保護者による行事日程等の確認をはじめ、中学生とその保護者によるオープンスクールのネット申込みまで活用度が高い。そのため 9 月にスマートフォンでの閲覧に対応するよう改修を施した。また、「校長ブログ」を新規に開設し、日々の学校の様子を紹介した。次年度も、より充実したホームページ作りに努める。(△) |
| | (2) 学校説明会の充実 | (2) ア 在校生が中心になり、体験的なオープンスクールを実施する イ 中学校や塾からの要請による「学校説明会」等に積極的に参加する | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 回のオープンスクール参加生徒・保護者を合計 1,100 名以上<H28-1,058 名> ・ 中学校等からの「学校説明会」の依頼 15 件<H28-13 件> | <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア・生徒による学校生活の紹介、クラブ体験など、オープンスクールを 2 回実施し、中学生 746 名、保護者等 275 名、計 1,021 名が参加した。(△) 参加した中学生の感想として、「分かりやすかった」「大体分かった」が 95.8%、「進路決定の参考になった」が 94.4%という回答を得た。(○) イ・学校説明会の依頼は中学 4 校、市町等から 4 件、塾等から 5 件あり、合計 13 件全て参加した。さらに、休日の中学生ミニ見学会を 9 回実施し、合計 387 名の参加申し込みがあった。次年度も積極的に情報発信に努める。(△) |